



1Q 2018

Financial Results

2017.3 ⇒ 2017.5

株式会社メディアドゥ

2018年2月期 第1四半期 決算説明資料

2017.7.19

 Media Do

目次

1. ビジネスモデル / ミッション
2. 2018年2月期 1Qハイライト
3. 2018年2月期 1Qレビュー
4. 電子書籍流通事業の進捗状況
5. メディア・プロモーション事業の進捗状況
6. 今後の成長戦略

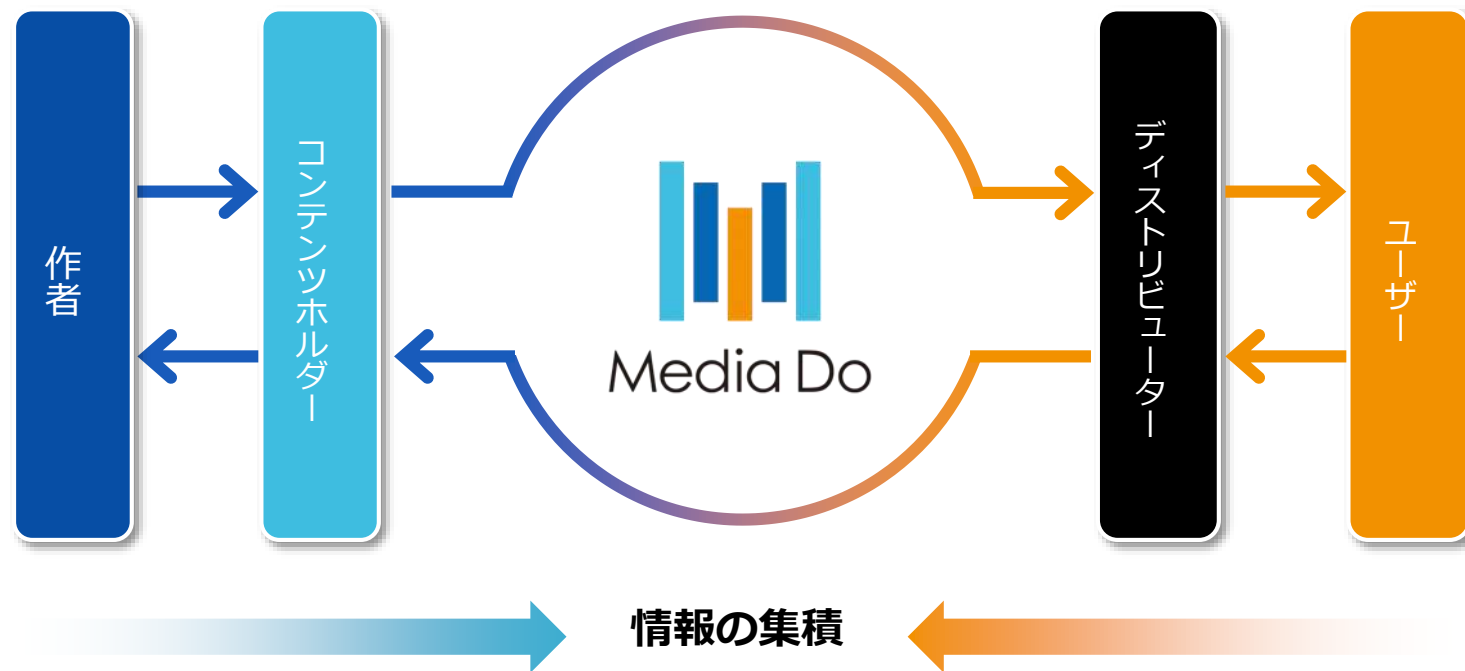


1. ビジネスモデル / ミッション

事業モデル

当社の事業モデルは、システムを活用した「著作物のデジタル流通事業」です。電子書籍を中心として、音楽、映像、ゲーム等の配信事業を推進。

著作物のデジタル流通事業



ひとつでも多くのコンテンツを、ひとりでも多くの人に届けること。

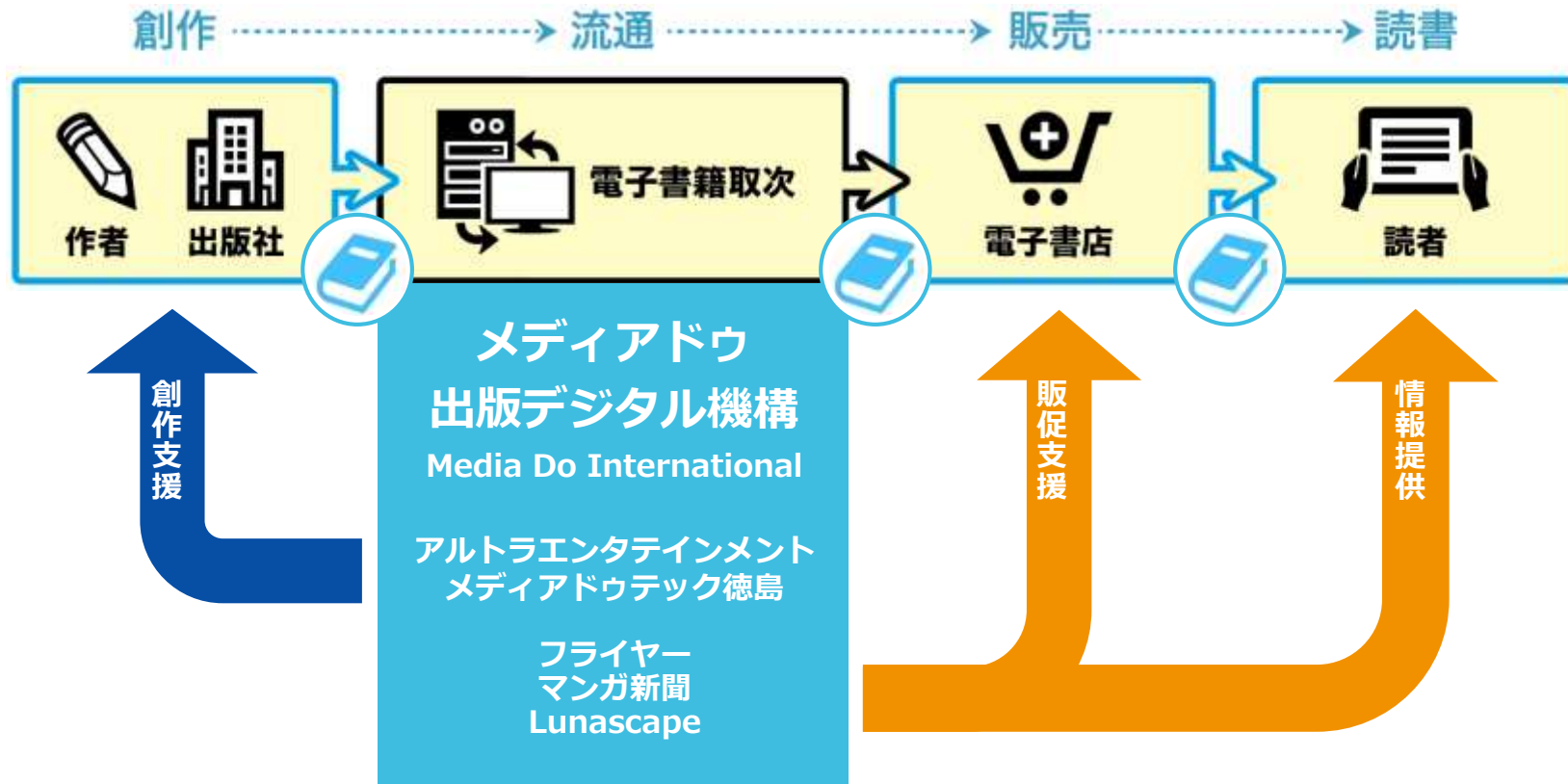
私たちメディアドゥは、著作物を公正利用のもと、私たちの力で出来る限り広く頒布し著作者に収益を還元するという**“著作物の健全なる創造サイクルの実現”**を事業理念と掲げ、この日本における文化の発展、及び豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。



著作権法 第一章 総則 第一節 通則 第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする。

メディアドゥグループについて

当社グループは、電子書籍事業領域において「流通」の最大化を目指し、「創作」「販売」を支援する事業を展開するとともに、「読書」を加速するための情報やサービスの提供を推進する。





2. 2018年2月期 1Qハイライト

2. 2018年2月期 1Qハイライト

グループトピックス

トピックス (1Q: 3~5月)

- ✓ 講談社の「じぶん書店」へ電子書籍配信のリニューアルの提供を開始
- ✓ **株式会社出版デジタル機構の株式取得（子会社化）の完了**
- ✓ Lunascape株式会社の株式取得（子会社化）
- ✓ アルトラエンタテインメント株式会社の事業譲受完了
- ✓ 韓国大手漫画配信サービス「TOPTOON」へ日本の漫画コンテンツを独占的に提供開始
- ✓ IRIグループ（インターネット総合研究所、エーアイスクエア）との資本業務提携
- ✓ 「comico PLUS」に電子書籍配信ソリューションの提供を開始

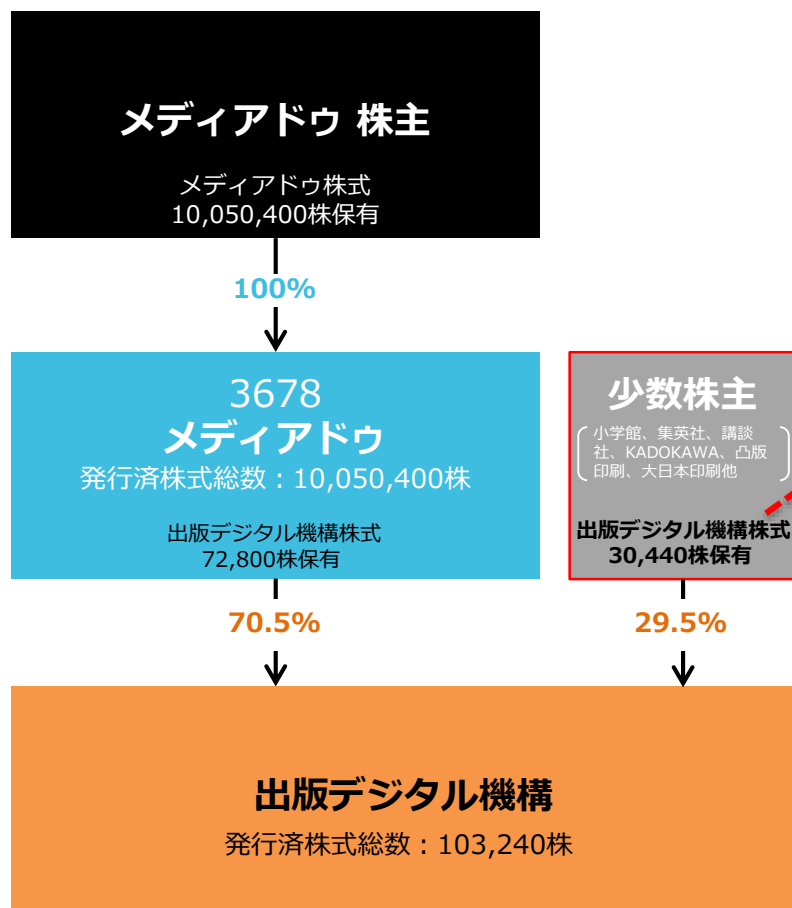
グループトピックス (1Q: 3~5月)

- ✓ 徳島合弁子会社、株式会社メディアドゥテック徳島の登記完了（メディアドゥテック徳島）
- ✓ 「2017年ビジネス書グランプリ」を発表後、授賞式イベントを開催（フライヤー）
- ✓ 新ブラウザ「Lunandscape Phoebe（フィービー）」の提供を開始（Lunandscape）

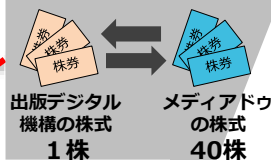
出版デジタル機構の完全子会社化

2017年6月1日を効力発生日として、株式交換による(株)出版デジタル機構の完全子会社化を実施。それにより、同社株主であった出版社及び印刷会社等各社が、直接の当社株主に転換。

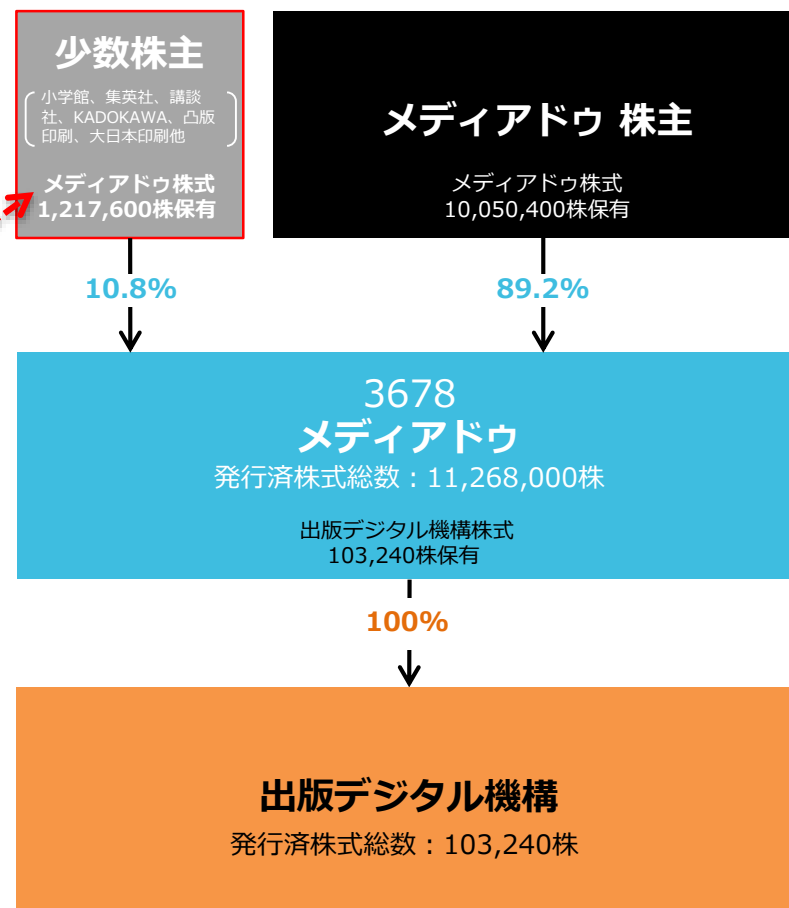
株式交換前



株式交換 (2017.6.1)



株式交換後

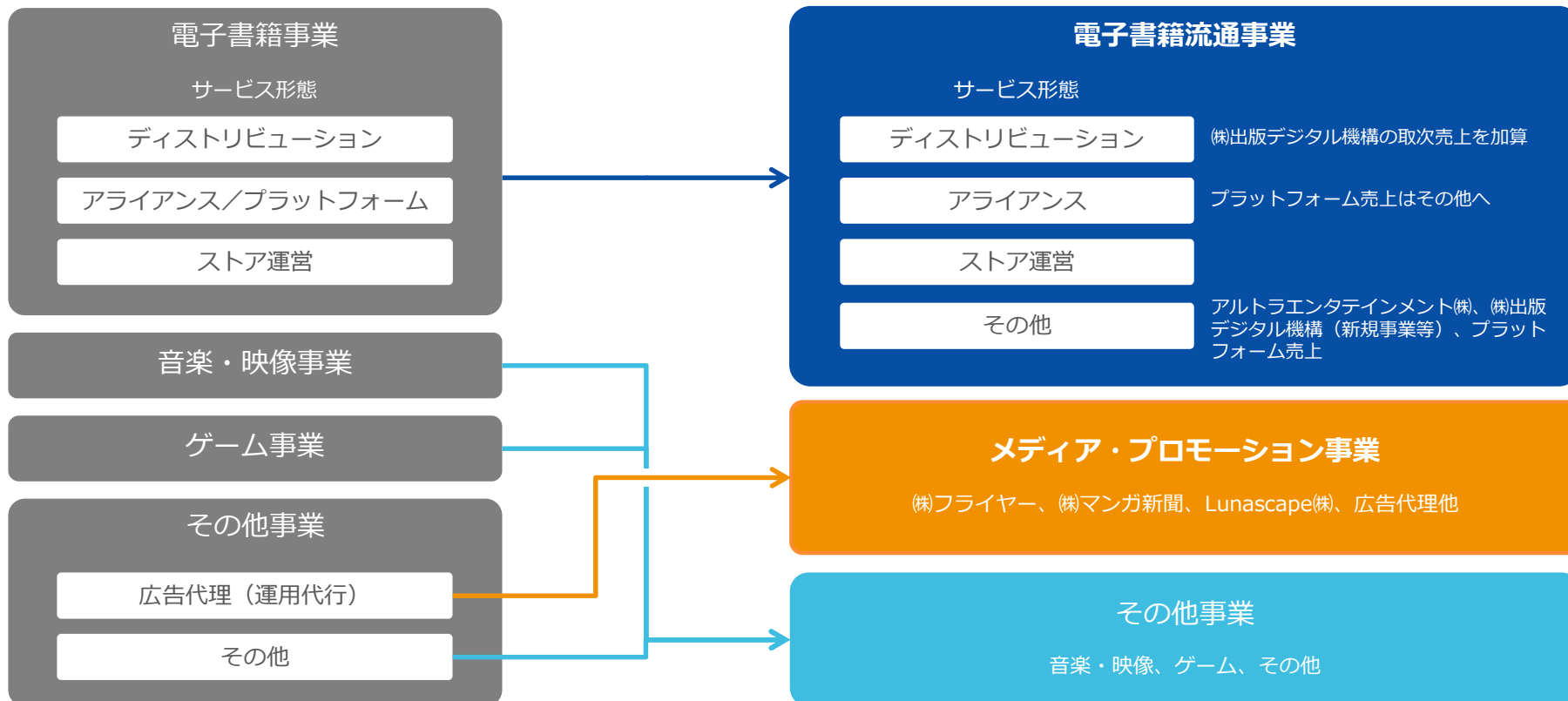


セグメント変更について

当社は、今期から、「音楽・映像事業」「ゲーム事業」を「その他事業」に統合し、メディア・プロモーション事業を新設。

変更前セグメント (2017年2月期 単体)

変更後セグメント (2018年2月期 連結)



連結対象範囲について

第1四半期においては、当社、および連結子会社6社（(株)出版デジタル機構、Media Do International, Inc.、(株)メディアドゥテック徳島、アルトラエンタテインメント(株)、(株)フライヤー、(株)マンガ新聞）の7社での連結決算となる。

		第1四半期の連結対象	今期想定している連結対象
(株)メディアドゥ		3ヶ月 (2017年3月～2017年5月)	12ヶ月 (2017年3月～2018年2月)
子会社	(株)出版デジタル機構	2ヶ月 (2017年4月～2017年5月※1)	11ヶ月 (2017年4月～2018年2月※1)
	アルトラエンタテインメント(株)	3ヶ月 (2017年3月～2017年5月)	12ヶ月 (2017年3月～2018年2月※2)
	Media Do International, Inc.	3ヶ月 (2017年3月～2018年2月)	12ヶ月 (2017年1月～2017年12月)
	(株)メディアドゥテック徳島	3ヶ月 (2017年3月～2017年5月)	12ヶ月 (2017年3月～2018年2月)
	(株)フライヤー	3ヶ月 (2017年3月～2017年5月)	12ヶ月 (2017年3月～2018年2月)
	(株)マンガ新聞	2ヶ月 (2017年4月～2017年5月)	11ヶ月 (2017年4月～2018年2月)
	Lunandscape(株)	非連結	9ヶ月 (2017年6月～2018年2月※2)
関連会社	LINE Book Distribution(株)	非連結	非連結
	(株)インターネット総合研究所	非連結	6ヶ月 (2017年7月～2017年12月)
	(株)エーアイスクエア	非連結	6ヶ月 (2017年7月～2017年12月)

※1 (株)出版デジタル機構においては、買収前の3月の売上・利益は連結されていないこととともに、完全子会社化前の4月、5月の純利益については30%の非支配株主帰属分が差し引かれている。

※2 アルトラエンタテインメント(株)、Lunandscape(株)においては、決算期変更によって当社決算期間に対応させていくことを想定。

※3 LINE Book Distribution(株)については、重要性の観点から持分法適用の対象外と想定。

2. 2018年2月期 1Qハイライト

連結業績ハイライト

第1四半期

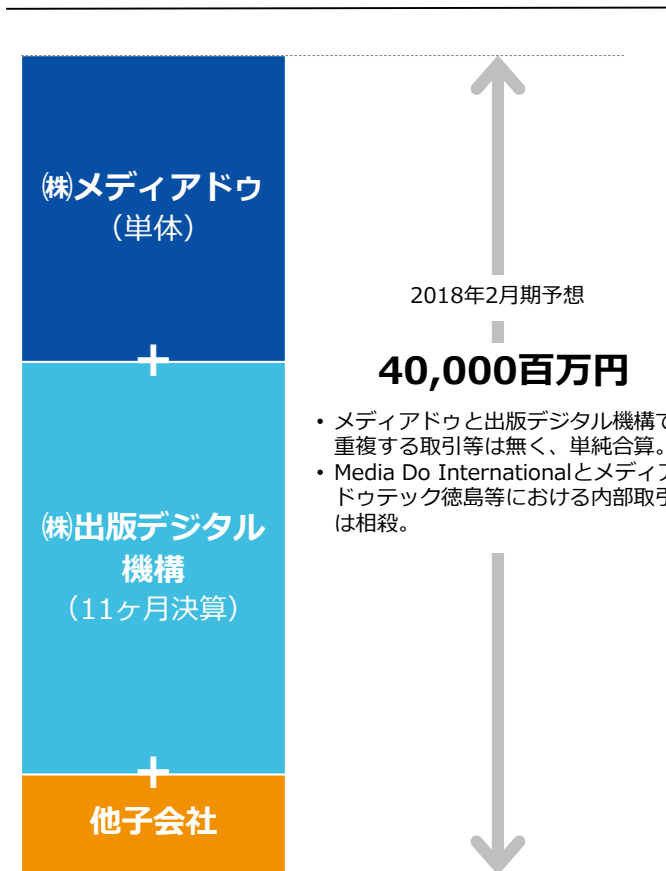
2017年3月～2017年5月

売上高	7,746百万円	(前年同期比 227.2%)						
売上原価	① 6,709百万円	※今期からコンテンツ許諾関連人件費を 販売管理費に移管						
売上総利益	1,037百万円							
販売費及び一般管理費	② 888百万円	<table border="0"> <tr> <td>のれん償却費</td> <td>73百万円</td> </tr> <tr> <td>M&A費用等</td> <td>106百万円</td> </tr> <tr> <td>その他販管費</td> <td>709百万円</td> </tr> </table>	のれん償却費	73百万円	M&A費用等	106百万円	その他販管費	709百万円
のれん償却費	73百万円							
M&A費用等	106百万円							
その他販管費	709百万円							
		販売管理費内訳						
営業利益	149百万円	(前年同期比 80.4%)						
営業外収益	5百万円							
営業外費用	③ 62百万円	<table border="0"> <tr> <td>支払利息</td> <td>9百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金手数料</td> <td>49百万円</td> </tr> <tr> <td>その他営業外費用</td> <td>3百万円</td> </tr> </table>	支払利息	9百万円	借入金手数料	49百万円	その他営業外費用	3百万円
支払利息	9百万円							
借入金手数料	49百万円							
その他営業外費用	3百万円							
		営業外費用内訳						
経常利益	92百万円	(前年同期比 47.8%)						
税引前当期純利益	92百万円							
法人税等調整額	71百万円							
非支配株主に帰属する 四半期純利益	④ 42百万円	※4月～5月に(株)出版デジタル機構の 29.5%を保有する株主への帰属部分						
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△21百万円	(前年同期比 -)						
EBITDA	302百万円	(前年同期比 120.6%)						

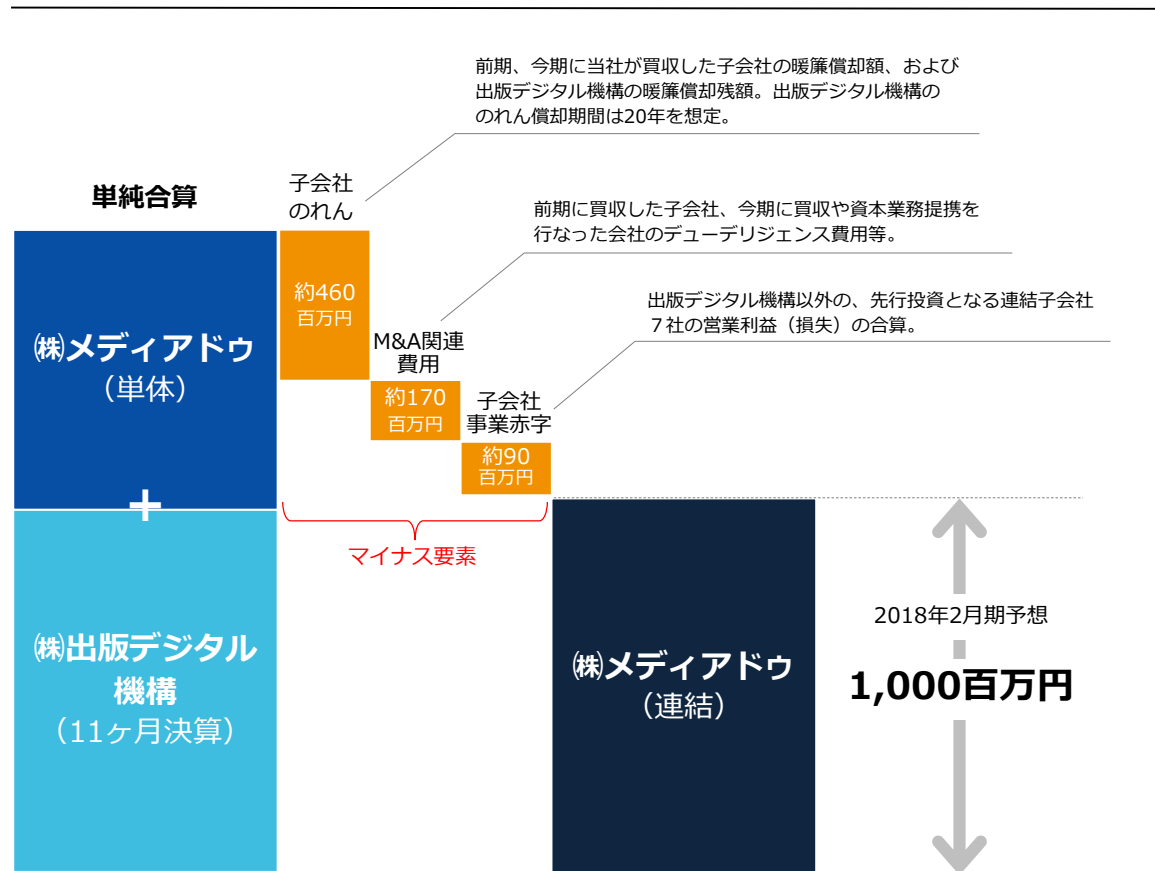
今期業績予想について

今期の業績予想は、連結売上高は基本的に単純合算（新設子会社は除く）。営業利益についてはメディアドゥ、出版デジタル機構の予想される通算営業利益から、子会社のれん、M&A関連費用、子会社事業赤字を差し引いた数値を想定。

売上高



営業利益

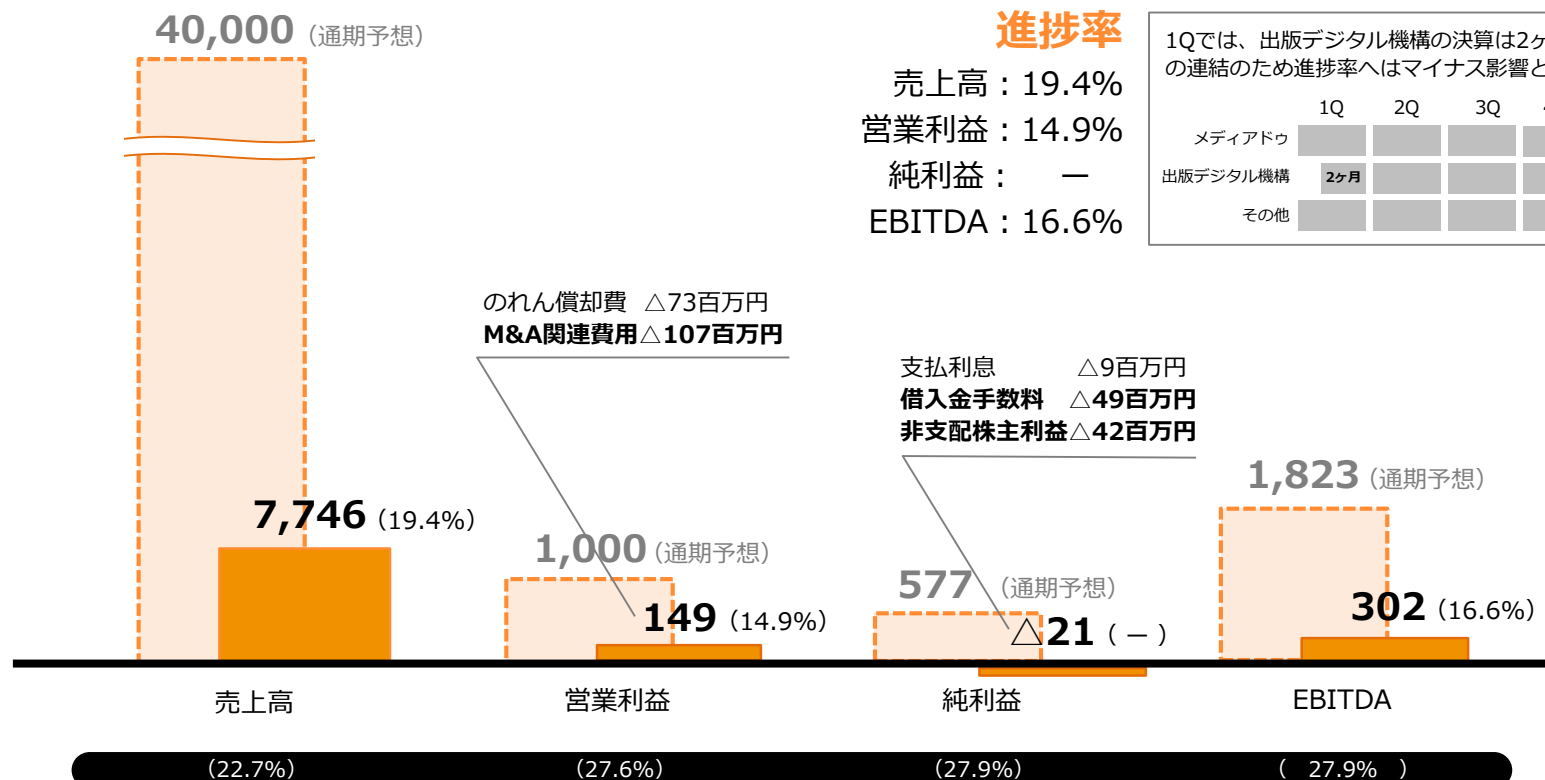


2018年2月期進捗状況

出版デジタル機構の買収に伴う、一時的費用のM&A関連費用、借入金手数料や、非支配株主に帰属する利益の影響で、純利益段階では赤字決算となった。

通期連結業績予想に対する進捗状況

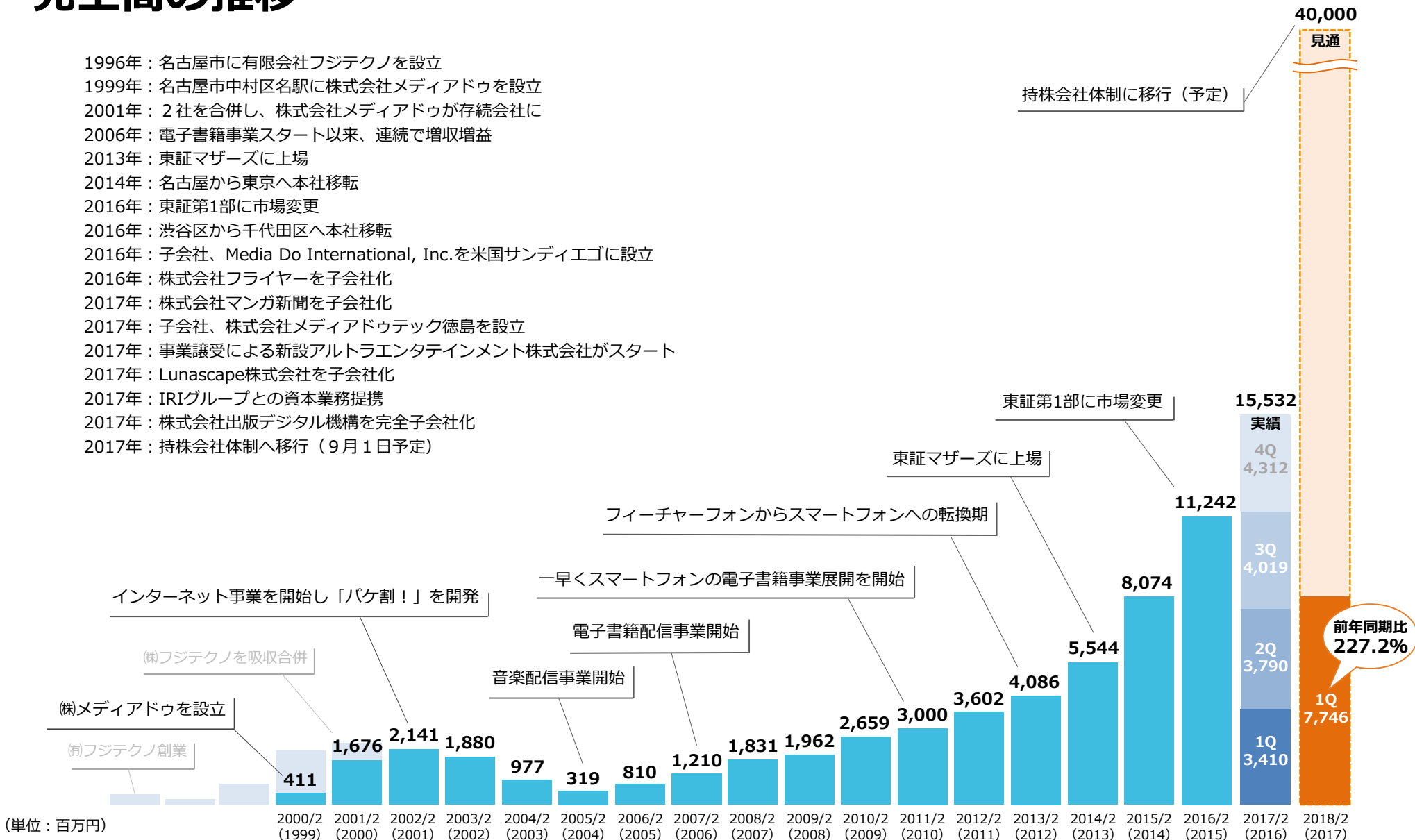
(単位：百万円)



2. 2018年2月期 1Qハイライト

売上高の推移

- 1996年：名古屋市に有限会社フジテクノを設立
- 1999年：名古屋市中村区名駅に株式会社メディアドゥを設立
- 2001年：2社を合併し、株式会社メディアドゥが存続会社に
- 2006年：電子書籍事業スタート以来、連続で増収増益
- 2013年：東証マザーズに上場
- 2014年：名古屋から東京へ本社移転
- 2016年：東証第1部に市場変更
- 2016年：渋谷区から千代田区へ本社移転
- 2016年：子会社、Media Do International, Inc.を米国サンディエゴに設立
- 2016年：株式会社フライヤーを子会社化
- 2017年：株式会社マンガ新聞を子会社化
- 2017年：子会社、株式会社メディアドゥテック徳島を設立
- 2017年：事業譲受による新設アルトラエンタテインメント株式会社がスタート
- 2017年：Lunandscape株式会社を子会社化
- 2017年：IRIグループとの資本業務提携
- 2017年：株式会社出版デジタル機構を完全子会社化
- 2017年：持株会社体制へ移行（9月1日予定）





3. 2018年2月期 1Qレビュー

2018年2月期実績 (P/L)

(単位：百万円)	※参考 2017年2月期 (単体)		2018年2月期 (連結)			
	1Q	構成比 (売上対比)	1Q	構成比 (売上対比)	通期予想	進捗率
売上高	3,410	100.0%	7,746	100.0%	40,000	19.4%
電子書籍流通事業	3,205	94.0%	7,446	96.1%	—	—
メディア・プロモーション事業	104	3.1%	214	2.6%	—	—
その他事業	100	2.9%	86	1.9%	—	—
営業利益	193	5.4%	149	1.9%	1,000	14.9%
営業外収益	0	—	5	—	—	—
営業外費用	0	—	62	—	—	—
支払利息	—	—	9	—	—	—
支払手数料	—	—	49	—	—	—
経常利益	193	5.7%	92	1.2%	962	9.6%
税金等調整前四半期純利益	193	5.7%	92	1.2%	—	—
法人税等	72	2.1%	71	0.9%	—	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	42	0.5%	—	—
親会社に帰属する四半期純利益 (損失)	120	3.5%	△21	—	577	—
EBITDA※	250	7.3%	302	3.9%	1,823	16.6%

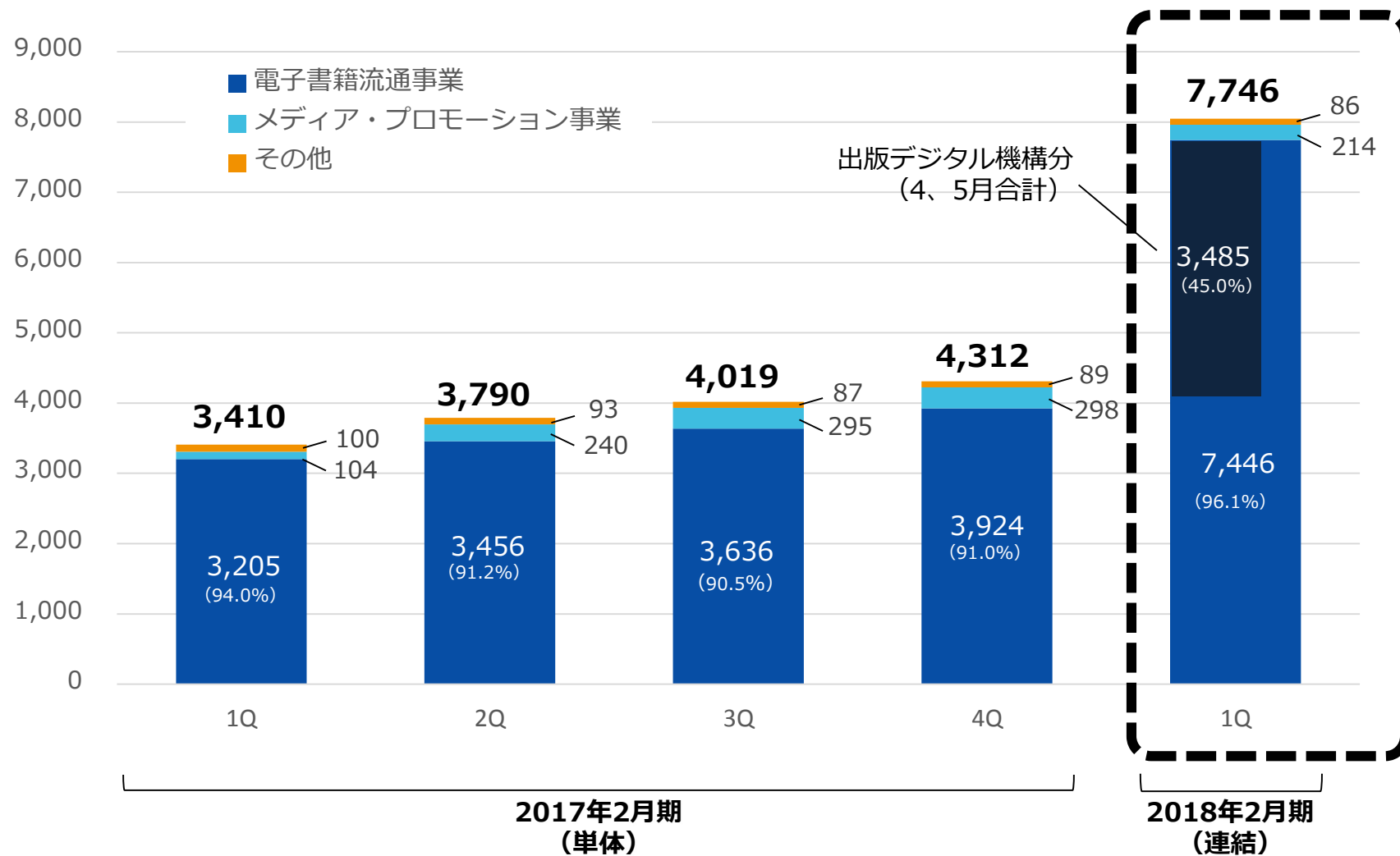
※ EBITDA: 営業利益+減価償却費

2018年2月期実績 (B/S)

(単位：百万円)	2018年2月期 (1Q/連結)	主たる変動要因、他
流動資産	14,905	
現金及び預金	6,100	連結決算による増加
売掛金	8,209	連結決算による増加
固定資産	11,390	
有形固定資産	567	連結決算による子会社分の増加
ソフトウェア	524	社内制作および連結決算による増加
のれん	6,643	M&Aに係わる連結決算による増加
投資有価証券	3,288	資本業務提携のインターネット総合研究所、エーアイスクエア株式が増加
資産合計	26,295	
流動負債	11,376	
買掛金	9,410	連結決算による増加
1年内返済予定の長期借入金	1,116	
固定負債合計	11,104	
長期借入金	11,027	M&Aのための借入増
負債合計	22,480	
純資産の合計	3,815	連結決算による増加
株主資本合計	2,420	5/末時点での自己資本比率は9.6%だが、6/1の出版デジタル機構の完全子会社化を加味した場合、非支配株主持分の大部分が資本剰余金に移るため、自己資本比率は凡そ14.0%程度
資本金	912	
資本剰余金	615	
利益剰余金	892	
その他包括利益累計額合計	102	
新株予約権	50	
非支配株主持分	1,241	4月～5月に(株)出版デジタル機構の29.5%を保有する株主への帰属部分
負債・純資産の合計	26,295	

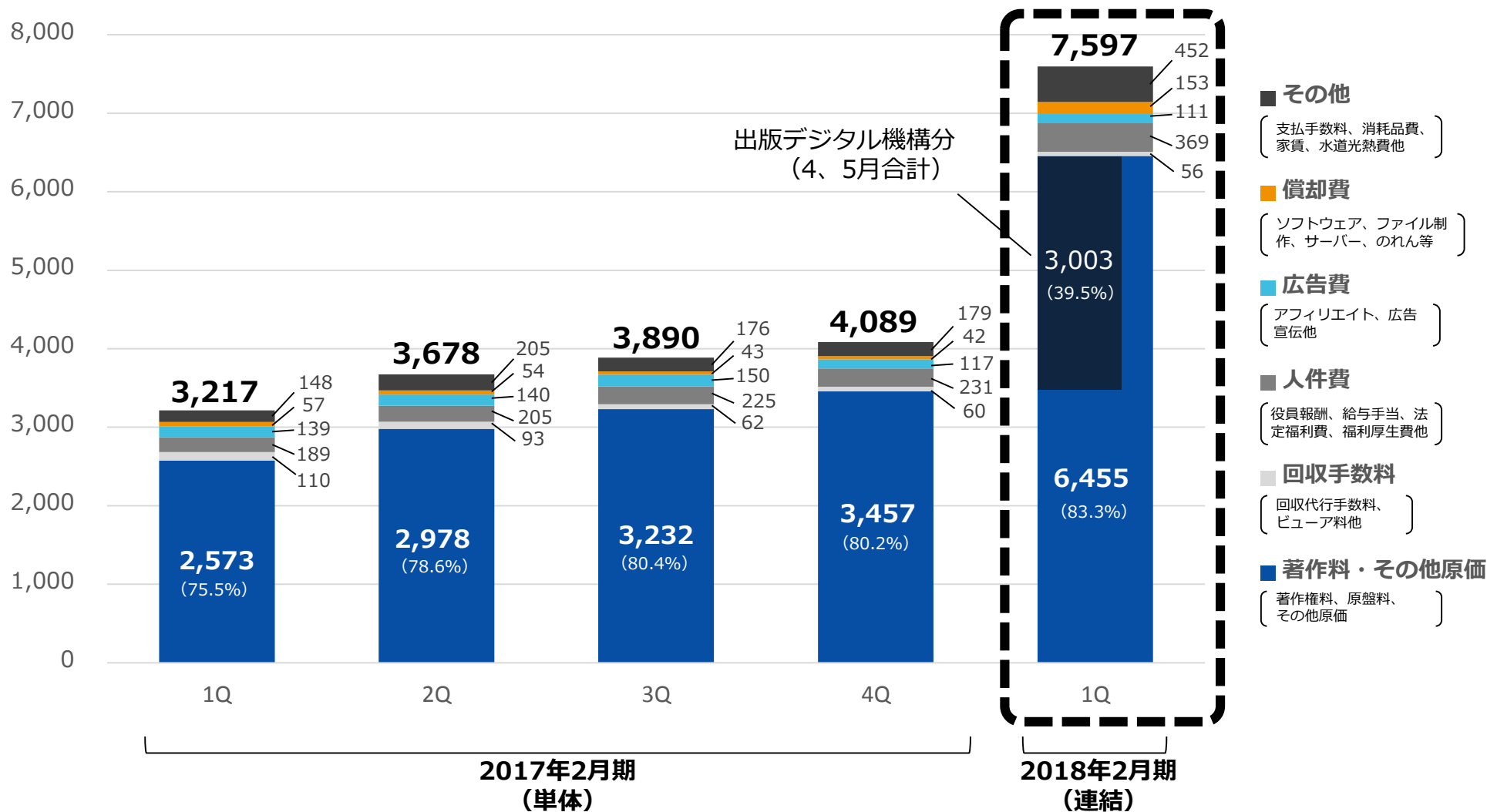
セグメント別四半期売上推移 (P/L)

(単位：百万円)

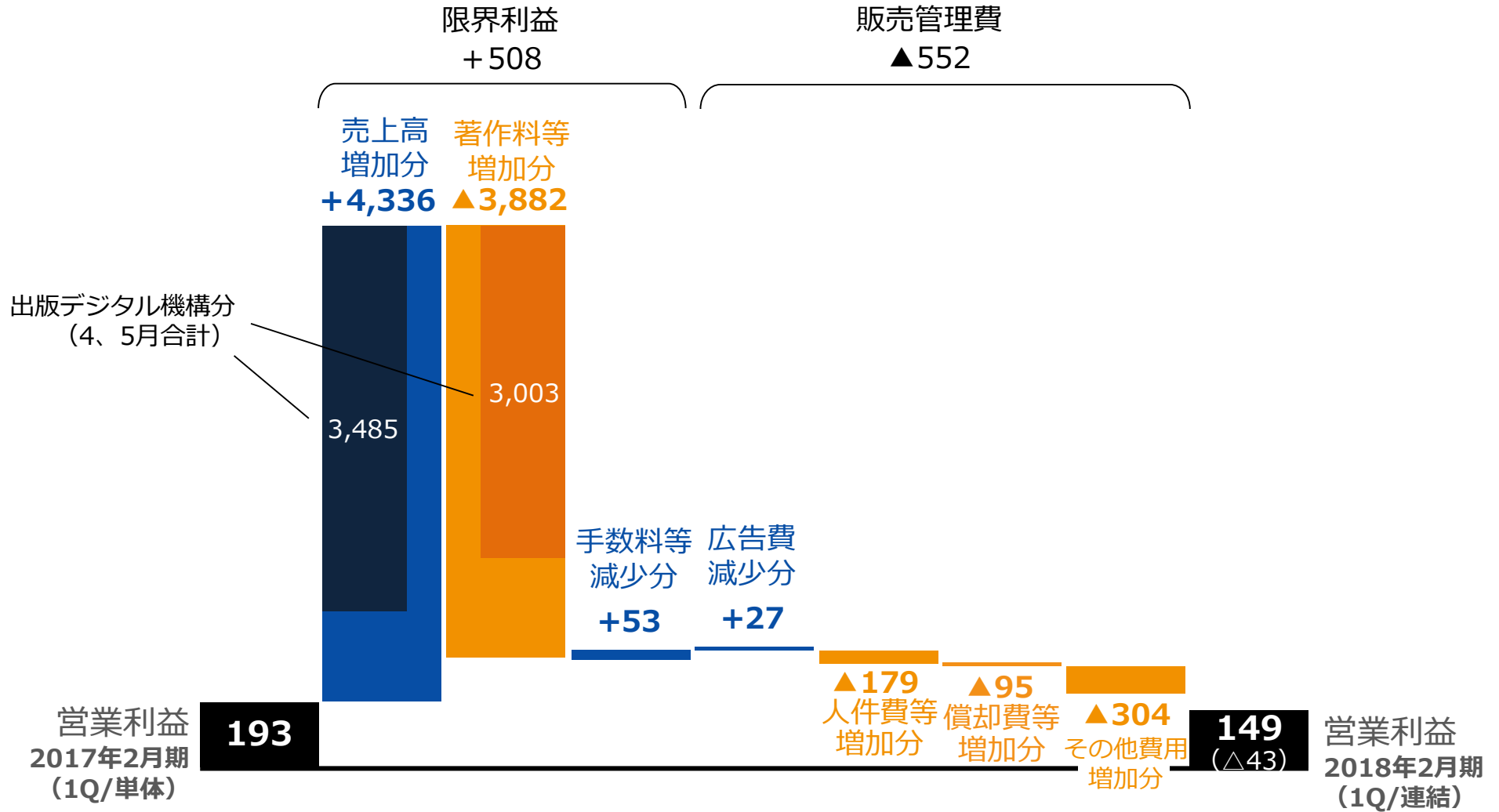


四半期コスト内訳の推移

(単位：百万円)



営業利益の変動要因実績



(単位：百万円)

2018年2月期詳細

(単位：百万円)	※参考 2017年2月期 (単体)								2018年2月 (連結)	
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	
売上高	3,410		3,790		4,019		4,312		7,746	
電子書籍流通事業	3,205	94.0%	3,456	91.2%	3,636	90.5%	3,924	91.0%	7,446	96.1%
メディア・プロモーション事業	104	3.1%	240	6.3%	295	7.4%	298	6.9%	214	2.8%
その他	100	2.9%	93	2.5%	87	2.2%	89	2.1%	86	1.1%
売上原価、販売管理費	3,217 94.3%		3,678 97.1%		3,890 96.8%		4,089 94.8%		7,597 98.1%	
著作権料・その他原価	2,573	75.5%	2,978	78.6%	3,232	80.4%	3,457	80.2%	6,455	83.3%
手数料等	110	3.2%	93	2.5%	62	1.6%	60	1.4%	56	0.7%
広告宣伝費	139	4.1%	140	3.7%	150	3.7%	117	2.7%	111	1.4%
人件費等	189	5.6%	205	5.4%	225	5.6%	231	5.4%	369	4.8%
償却費等	57	1.7%	54	1.4%	43	1.1%	42	1.0%	153	2.0%
その他	148	4.3%	205	5.4%	176	4.4%	179	4.2%	452	5.8%
営業利益	193 5.7%		111 2.9%		128 3.2%		223 5.2%		149 1.9%	
経常利益	193	5.7%	111	3.0%	127	3.2%	223	5.2%	92	1.2%
親会社に帰属する当期純利益	120	3.5%	61	1.6%	84	2.1%	148	3.4%	△ 21	-0.3%
EBITDA	250 7.3%		166 4.4%		172 4.3%		265 6.2%		302 3.9%	

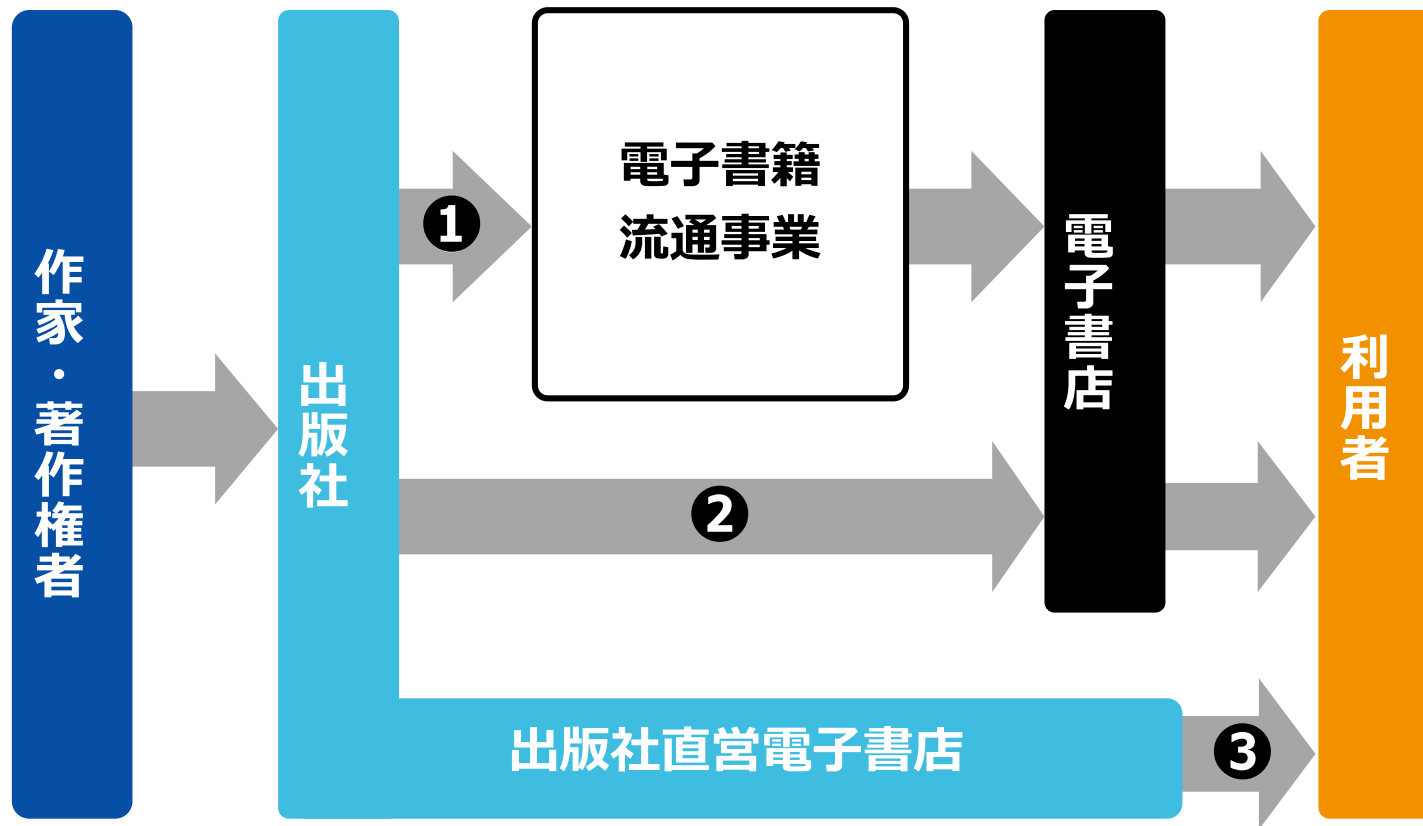
※ %は売上対比



4. 電子書籍流通事業の進捗状況

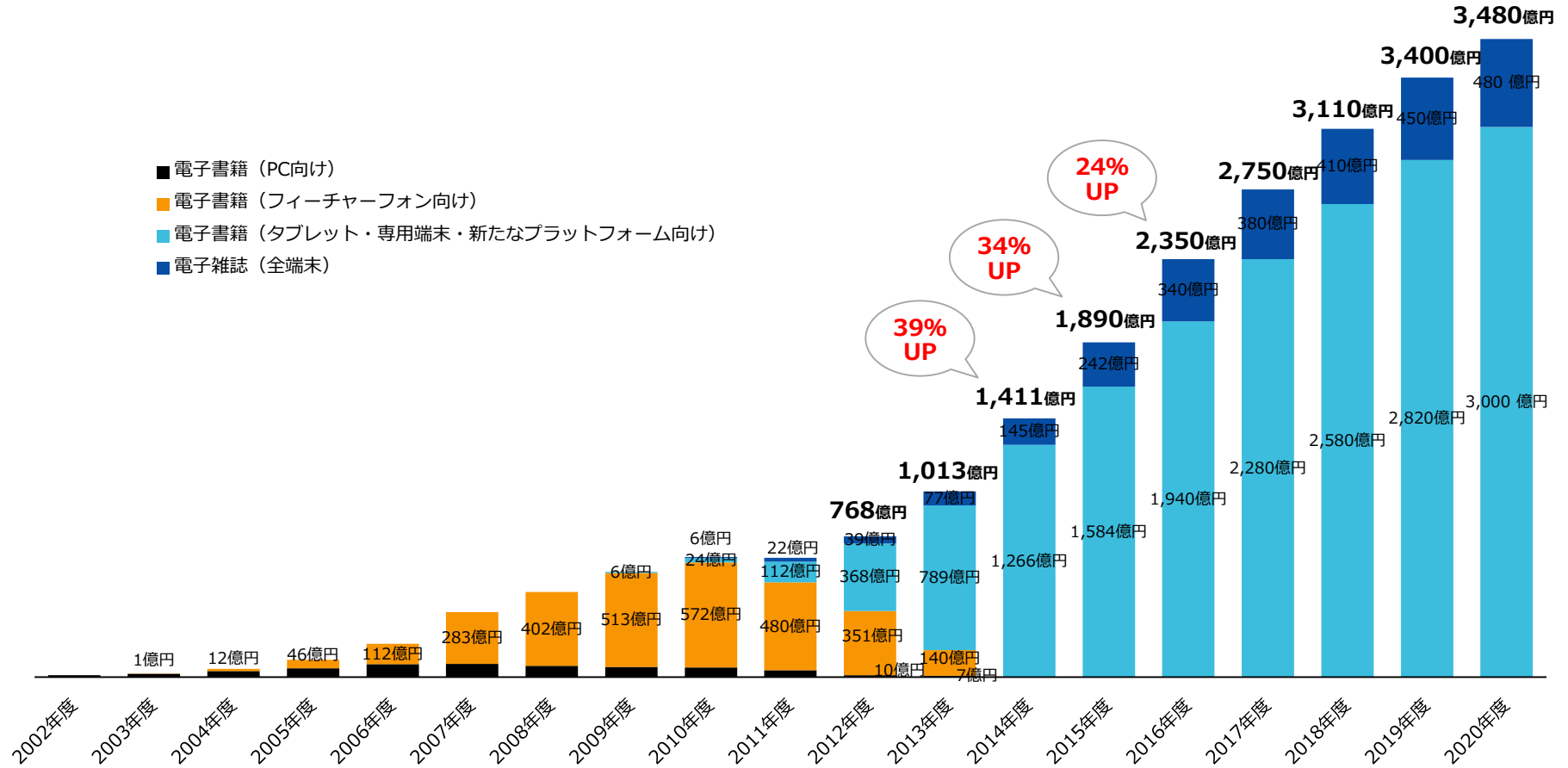
事業ポジション

電子書籍流通事業は、出版社や電子書店の間に立って電子書籍取次としてのコンテンツの流通を担うとともに、オペレーション支援、システム提供等様々な事業支援業務を担う。



電子出版市場

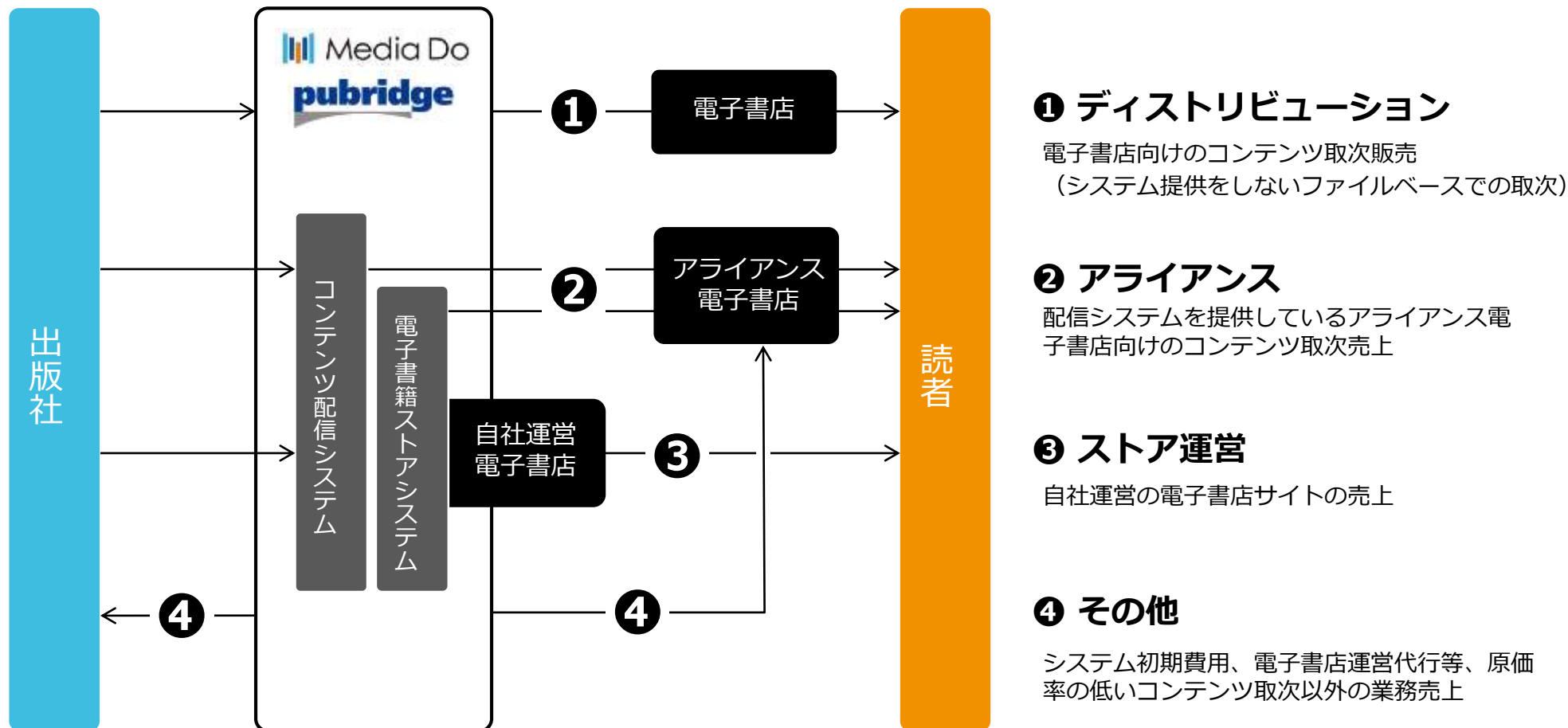
2015年度の電子書籍市場規模は前年比25%増の1,584億円。2020年度の電子書籍と電子雑誌を合わせた電子出版市場は3,480億円規模へ成長と予測。



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2016」

サービス形態

当社の電子書籍流通事業におけるサービス形態については、以下の4パターン。



サービス形態別売上推移

(単位：百万円)	2017年2月期								2018年2月期	
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	
電子書籍流通事業売上	3,205		3,456		3,636		3,924		7,446	
① ディストリビューション	1,287	40.2%	1,408	40.8%	1,413	38.9%	1,417	36.2%	4,926	66.1%
② アライアンス	1,275	39.8%	1,435	41.5%	1,599	44.0%	1,789	45.5%	1,881	25.3%
③ ストア運営	368	11.5%	374	10.8%	374	10.3%	369	9.4%	357	4.8%
④ その他	274	8.5%	238	6.9%	248	6.8%	348	8.9%	281	3.8%

※ %は電子書籍流通事業売上を100とした場合の構成比

① ディストリビューション

- ・ ディストリビューションが中心の出版デジタル機構の売上との合算による売上増。

② アライアンス

- ・ 大型書店の売上が続伸するも、ディストリビューションの増加により、売上構成比は大きく減少。

③ ストア運営

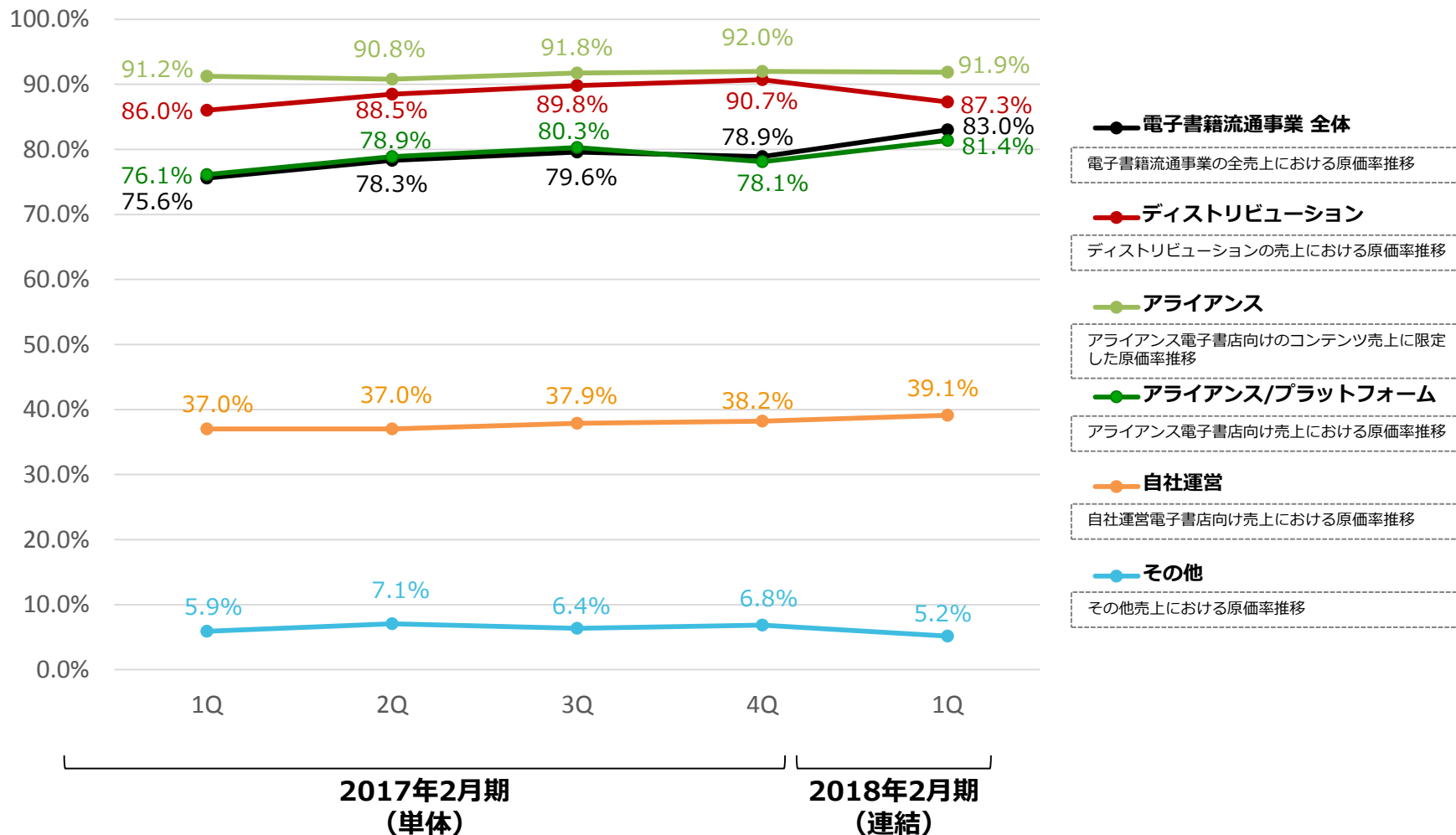
- ・ 前期からの売上水準を維持。

④ その他

- ・ システム運営費等は前期末からの売上水準を維持。初期の開発案件も受注。

電子書籍著作料率の推移

「アライアンス（黄緑）」の著作料率は、アライアンス電子書店のコンテンツ売上のみを集計。
 「ディストリビューション（赤）」は連結による出版デジタル機構との合算より著作料率は微減。

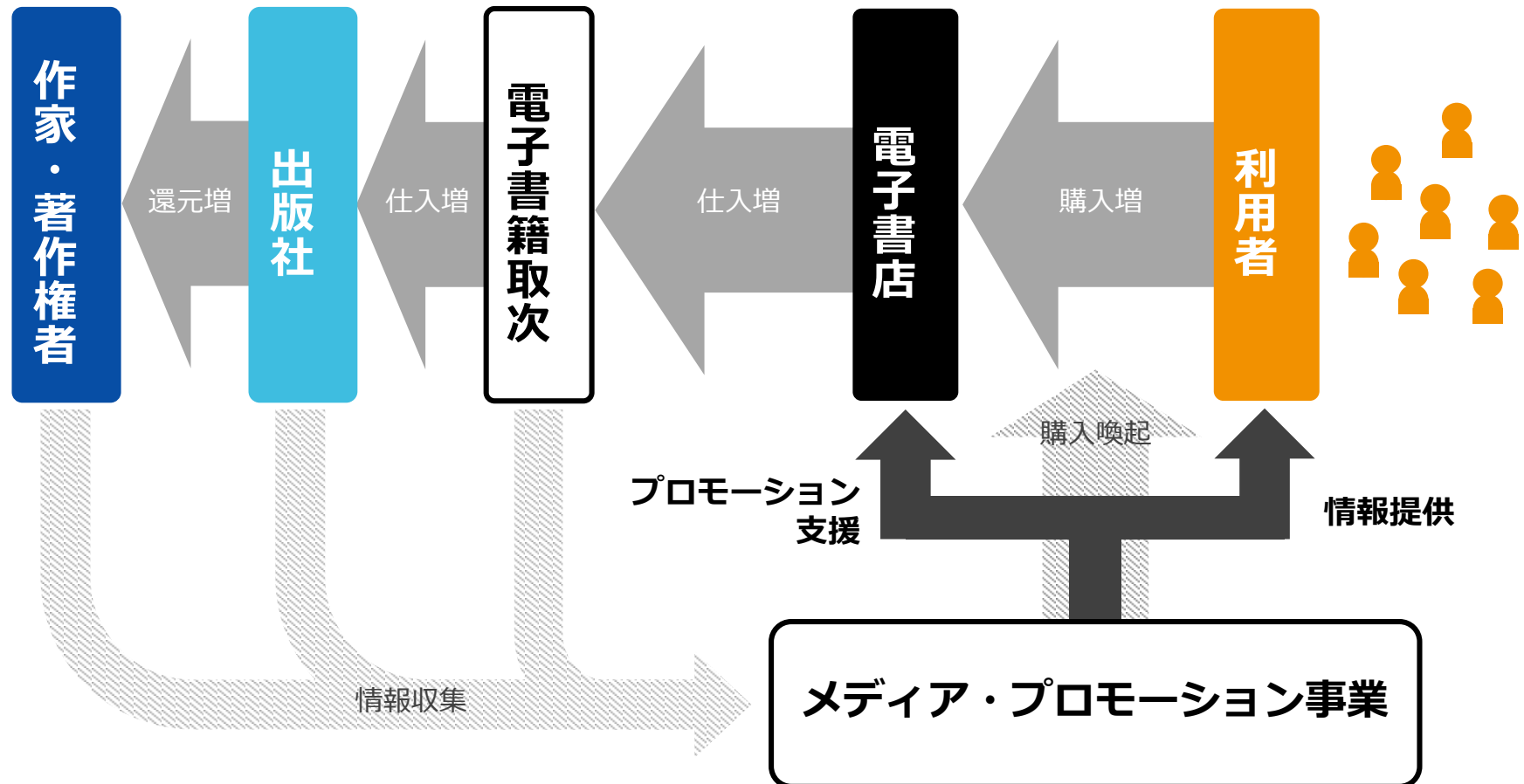




5. メディア・プロモーション事業の進捗状況

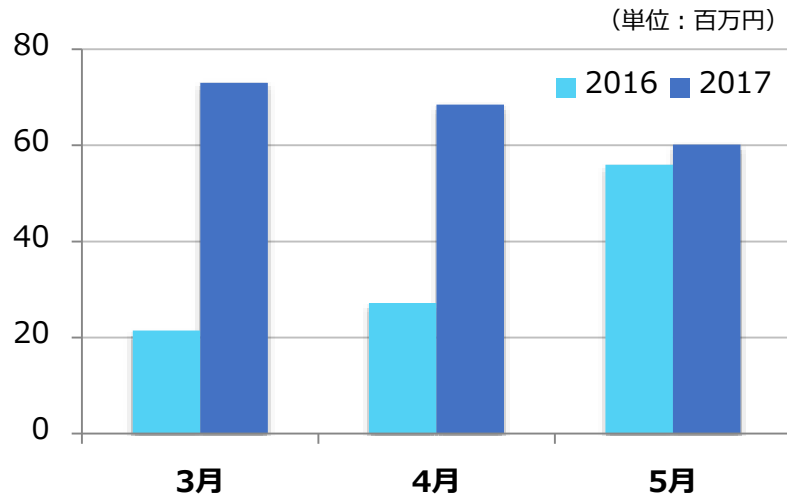
事業ポジション

メディア・プロモーション事業においては、電子書店向けの販促支援、読者への情報提供など通じて、電子書籍流通量の拡大につながる読者への需要喚起を担う。



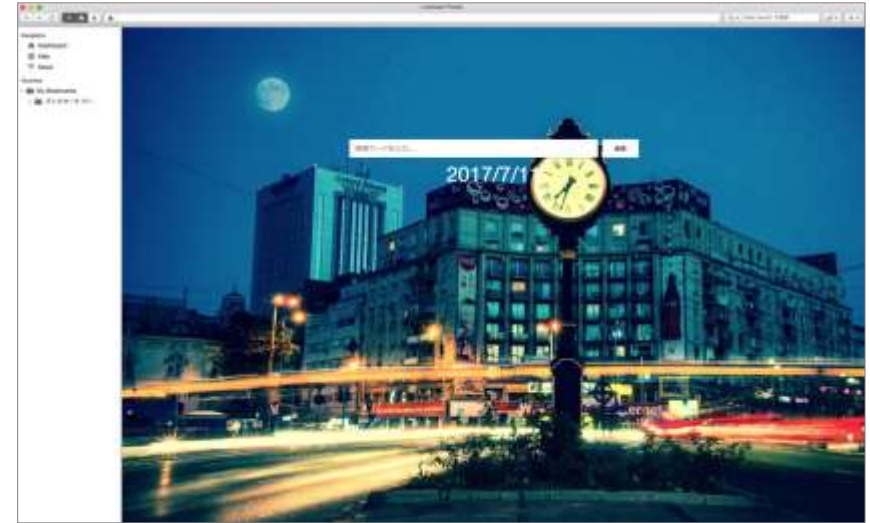
広告代理・Lunascape

広告代理



- 広告代理業務においては、各アドネットワークやワンタグソリューション「Trans-AD」を運営し、書籍サイトへのプロモーションの企画立案、広告コンサルティングを実施することで集客効率を最大化させ、新規及び既存クライアントの広告予算を獲得できたことで、今期前月までの累計実績は約270百万円となり、対前年同期比は155%となった。
- 今後、広告出稿クライアントに対して、サイトのUI/UX改善案の提示から編集作業、システム対応までを一手に請け負うことで、コンバージョンレートとARPUの向上を図るとともに、費用対効果の高い純広告（アドネットワーク、デジタルマーケ広告など）への出稿を促していくことで利益拡大を目指す。

Lunascape



- 世界最先端のブラウザ技術にウェブの最新技術を融合し、よりウェブとの親和性が高いブラウザとして、新型ブラウザ「Lunascape Phoebe」をリリース。
- 『電子書籍×ブラウザ』によって、読者の電子書籍での読書インフラ環境を進化させ、出版コンテンツのデジタル流通を加速させていく。

フライヤー・マンガ新聞

フライヤー



- 広告配信展開、ビジネス書グランプリ開催による知名度向上、Webサイトリニューアルによる会員獲得の導線強化、により会員数は13万人に到達。(7月10日時点では約14万人)
- 今夏、8月にアプリリニューアルを予定しており、ユーザビリティ向上による個人会員の更なる獲得を目指す。
- また、自社営業に加え、営業代理店を活用した法人営業推進や法人向け電子書店「bizbook」との連携サービスの開発に着手し、法人会員の獲得に向けた展開を予定。

マンガ新聞



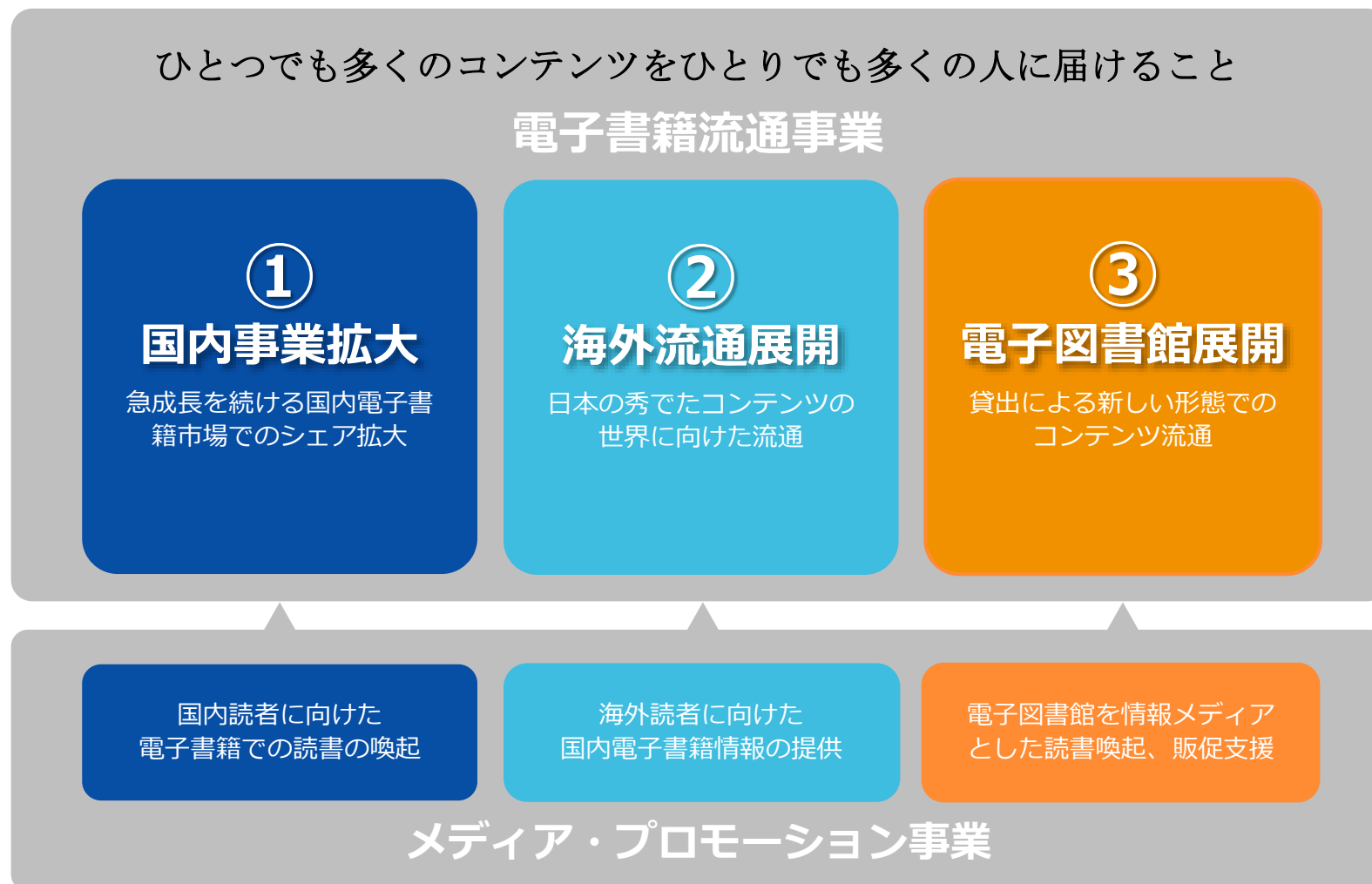
- ネット向けマンガの作り方や、ネット上での販売方法を、研究、実践、発信する会員制のオンラインサロンを開設し、漫画家、編集者、マーケター、ネット関連などの月額会員を獲得。堀江貴文氏等によるSNSでの拡散、月1回以上の会員向けイベントの定期的な開催により知名度向上。
- マンガ書評サイト「マンガHONZ」を、マンガ情報メディア「マンガ新聞」へ集約させ、9月のリニューアルと同時に広告掲載を開始予定。さらに新刊・キャンペーン情報を集めたデイリーで更新されるコーナーを設置し、SNSやニュース系サイトへの掲載、SEOなどで拡散力を高め、DAUを着実に伸ばす。



6. 今後の成長戦略

成長戦略の基本方針

メディアドゥの3つの事業拡張の方向性。



成長シナリオ進捗サマリー

国内事業展開を加速。海外展開、電子図書館展開は着々と推進中。

電子書籍流通事業

③ 電子図書館展開

- 4月1日より新たに、熊谷市、北海道天塩町の公共図書館へ提供開始
- OverDrive Japan電子図書館交流会開催

② 海外流通展開

- MediBang社との資本業務提携による事業推進体制強化
- 海外向け日本語雑誌やテキスト書籍配信を準備推進中

① 国内事業拡大

- 出版デジタル機構の買収によるシナジー効果の最大化に向けて、売上拡大・コスト削減の面から事業推進体制を再構築中

メディア・プロモーション事業

- フライヤーの要約コンテンツの多角化展開によるテキスト書籍流通を推進
- より質の高い情報発信を目指し、マンガ新聞を起点とした会員制有料オンラインサロンを展開
- 新ブラウザ「Lunandscape Phoebe（フィービー）」への電子書籍流通機能搭載による新しいデジタル流通展開を推進

IRIグループとの資本業務提携

IRIグループが持つテクノロジーとの連携による、メディアドゥグループ事業の高度化、拡張へ。

海外流通展開

翻訳コスト負担のため海外向け翻訳コンテンツの確保が困難

マイナー言語等、機械翻訳の本格導入による
破格なコストダウンを実現へ

インターネット総合研究所



サイバー
セキュリティ

IRI
グループ

エーアイスクエア



AI文章要約

コピー防止技術の確保

出版社からの技術信用力度のUP

要約出版物を自動的に創出

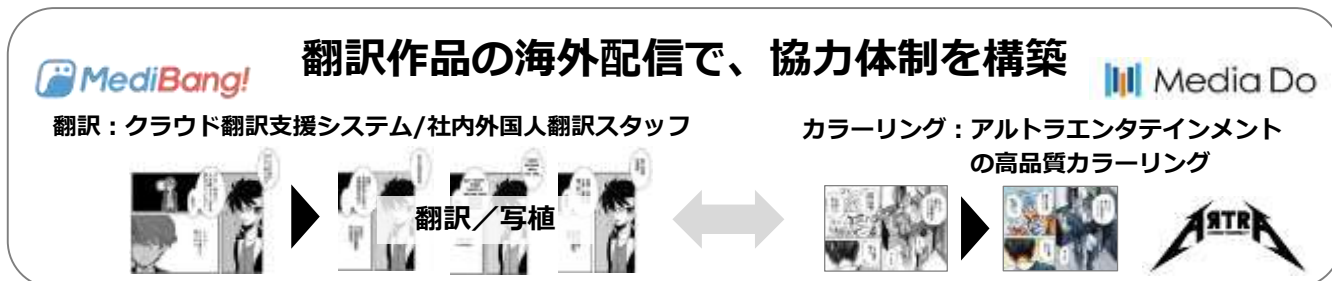
読書の興味を喚起し購入促進、売上拡大へ

国内事業拡大

メディバン社との資本業務提携

全世界累計1,300万ダウンロードを誇るマンガ・イラスト制作アプリ「メディバンペイント」を展開するメディバン社との包括的な資本業務提携によって、新人育成、海外展開等の事業領域を拡大へ。

海外
流通
展開



史上初！
少年ジャンプ公式
マンガ制作アプリ
「ジャンプPAINT」
をリリース！



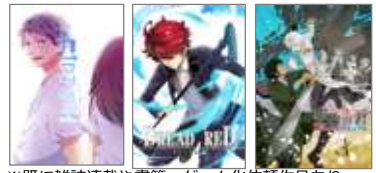
世界で急増中のメディバン
独自コンテンツの配信

MediBang Paint

直近の海外投稿/会員数

総公開マンガ数 約11,000	総クリエイター数 約310万人
日本 約3,200	英語 約75万
英語 約2,200	スペイン語 約47万
中国 約1,100	日本 約47万、中国 約25万
台湾 約900	台湾 約13万、韓国 約32万
韓国 約600	

メディバンパートナー作品
(現在24作品)



※既に雑誌連載や書籍・ゲーム化依頼作品あり。

世界で展開する
「Medibang!プラットフォーム」
への取次配信

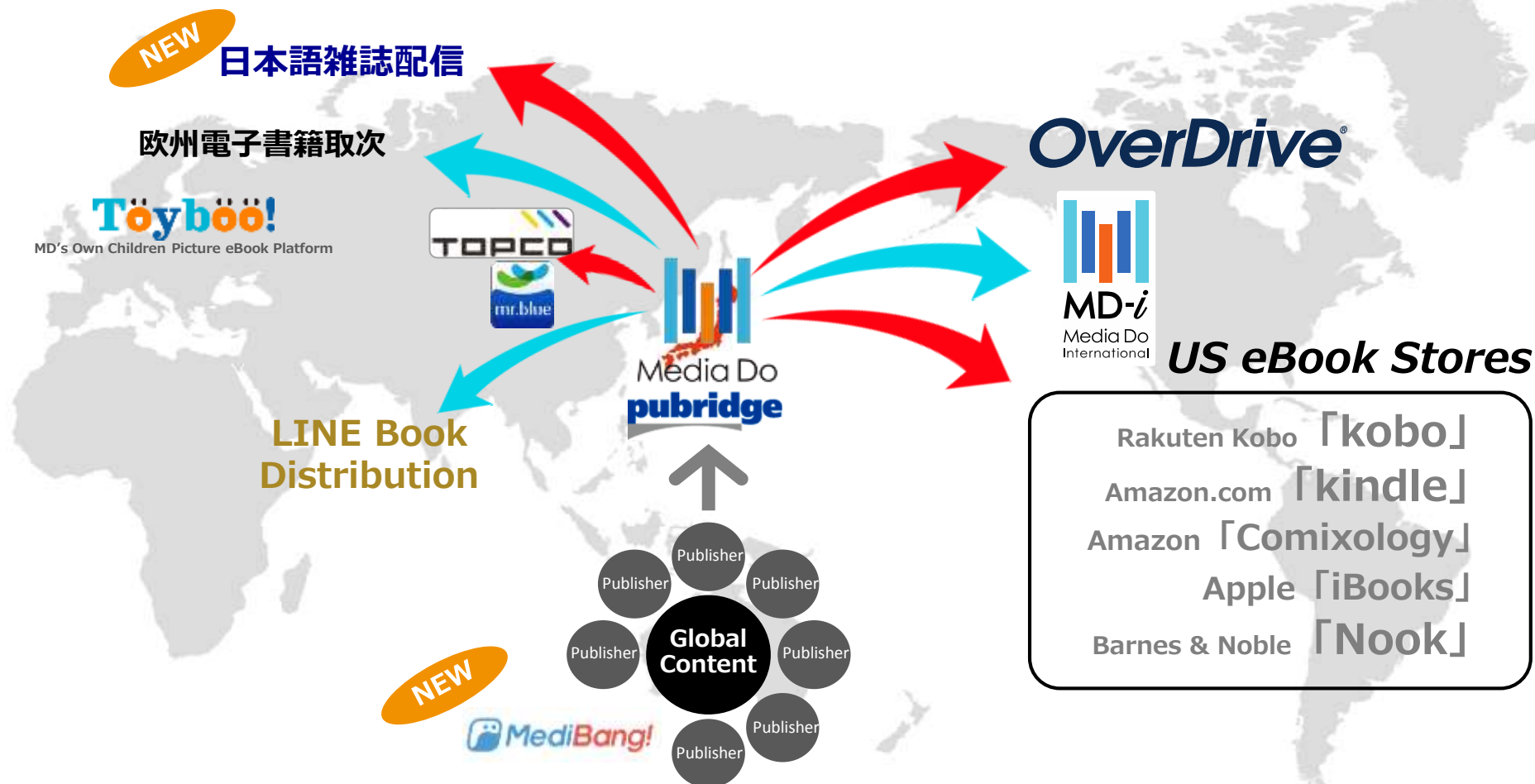
“medibang.com”

“メディバンマンガ”



海外流通展開

- 英語に独自翻訳した日本マンガの海外電子大手書店での販売を近々開始予定。
- 海外デジタル雑誌配信会社との提携による日本語雑誌の海外配信準備中。
- メディバンとの資本提携により、海外著作物・著作者へのアクセス確保。



6. 今後の成長戦略

電子図書館展開

4月1日より新たに2つの公共図書館へ電子図書館サービスを提供開始。

〈北海道天塩町社会福祉会館図書室〉

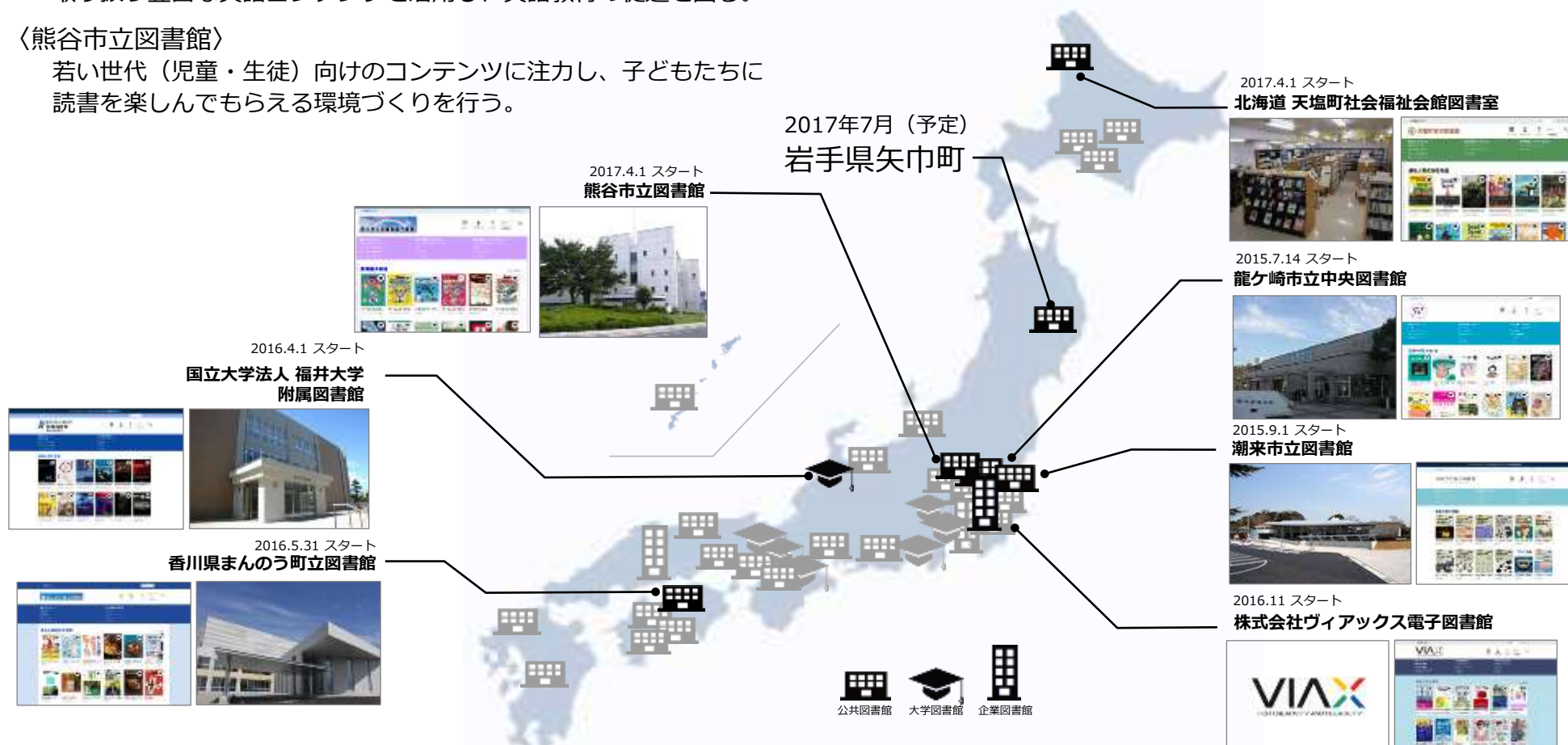
地方創生事業として「未来への投資」を進めており、OverDrive Japanが取り扱う豊富な英語コンテンツを活用し、英語教育の促進を図る。

〈熊谷市立図書館〉

若い世代（児童・生徒）向けのコンテンツに注力し、子どもたちに読書を楽しんでもらえる環境づくりを行う。

〈マーケティング活動トピックス〉

4/20にOverDrive Japan電子図書館交流会を開催。図書館と出版社の方が電子図書館をテーマに、直接交流できるイベントをメディアドゥ本社にて実施。



会社概要

商号	：株式会社メディアドゥ (MEDIA DO Co.,LTD.)
設立	：1999年4月
資本金	：912,189,750円 (2017年5月末日現在)
上場取引所	：東京証券取引所 市場第一部
証券コード	：3678
代表者	：代表取締役社長 藤田 恭嗣 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 鈴木 克征 取締役 森 秀樹 取締役 駿田 和彦 (社外取締役/独立役員) 取締役 榎 啓一 (社外取締役/独立役員) 常勤監査役 大和田 和恵 監査役 森藤 利明 (社外監査役/独立役員) 監査役 高山 健 (社外監査役/独立役員) 監査役 椎名 毅 (社外監査役/独立役員)
本社	：東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル5F (竹橋)
名古屋テクニカルオフィス	：愛知県名古屋市中区丸の内3-5-10 名古屋丸の内平和ビル9F
徳島木頭オフィス	：徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23
子会社	：株式会社出版デジタル機構、Media Do International, Inc. (米国サンディエゴ)、株式会社フライヤー、株式会社マンガ新聞、アルトラエンタテインメント株式会社、Lunascap株式会社、株式会社メディアドゥテック徳島、
関連会社	：LINE Book Distribution株式会社、株式会社インターネット総合研究所、株式会社エーアイスクエア





本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただけますようお願いいたします。

将来見通しに関する注意事項と会計監査について